




第2期 中津市版
まち・ひと・しごと創生総合戦略
【計画期間：R2（2020）年度～R6（2024）年度】

進捗状況

第2期総合戦略の施策の実施状況 (令和6年度末時点)

◎数値目標の達成状況

数値目標		目標値	第1期策定時 (H26)	第2期策定時 (H30)	最終年における 現状値 (R6)
合計特殊出生率		1.89	1.90	1.87	 1.56
お達者年齢 (5年間平均)	男性	80歳	78.72歳	79.08歳	 79.61歳
	女性	84.5歳	83.68歳	83.93歳	 84.44歳
人口社会動態 (5年間平均)		社会増を維持	+57.0	+28.8	達成 +77.6
生産年齢人口		約4.5万人	48,931人	46,310人	達成 45,338人
企業誘致件数		83件 (うち2期中 30件)	—	41件	達成 106件 (うち2期中 53件)
若年人口回復率		100%以上を維持	87.5%	114.5%	達成 176.6%

◎令和6年度KPIまとめ

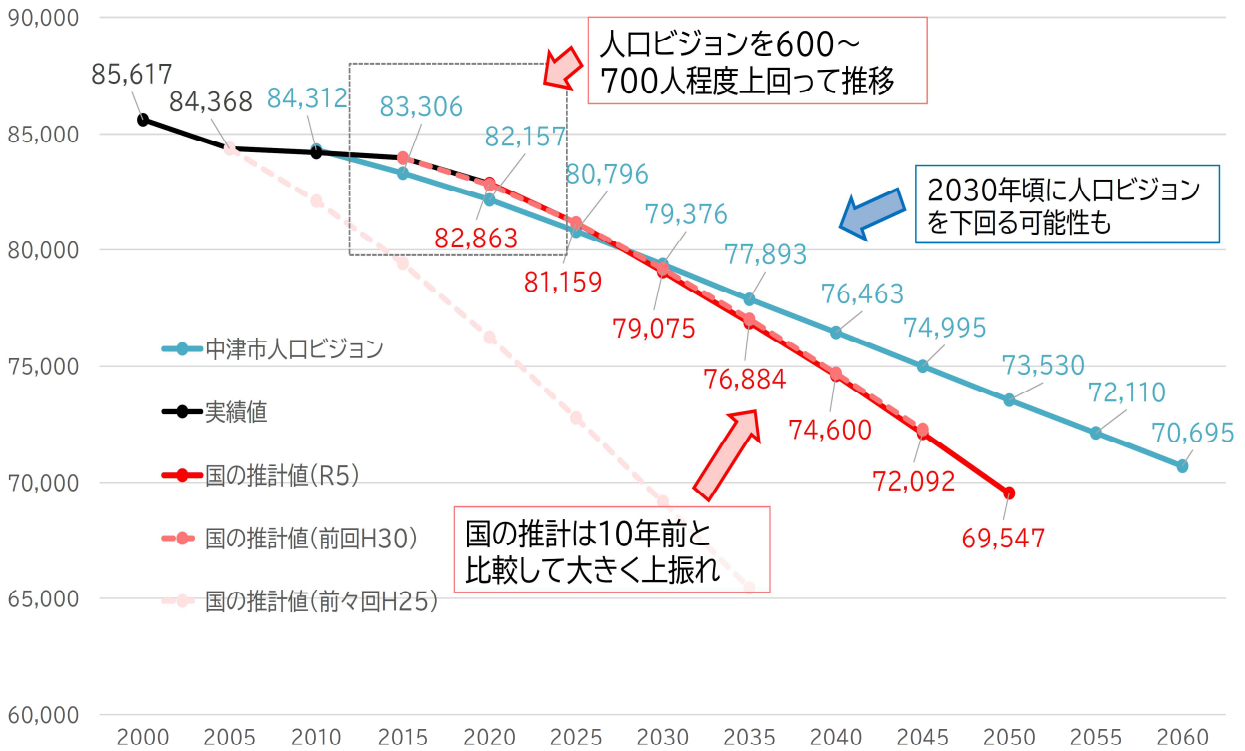
約6割の指標が評価AもしくはBとなっており、概ね目標を達成できた。

	評価目安	安心	元気	未来	計	構成比	参考 (R5)
A	100%以上	5	11	6	22	52.4%	25
B	75%以上100%未満	3	1	1	5	11.9%	4
C	50%以上75%未満	3	2	1	6	14.3%	4
D	25%以上50%未満	3	2	0	5	11.9%	5
E	25%未満	1	2	1	4	9.5%	4
計		15	18	9	42	100.0%	42

◎人口の状況

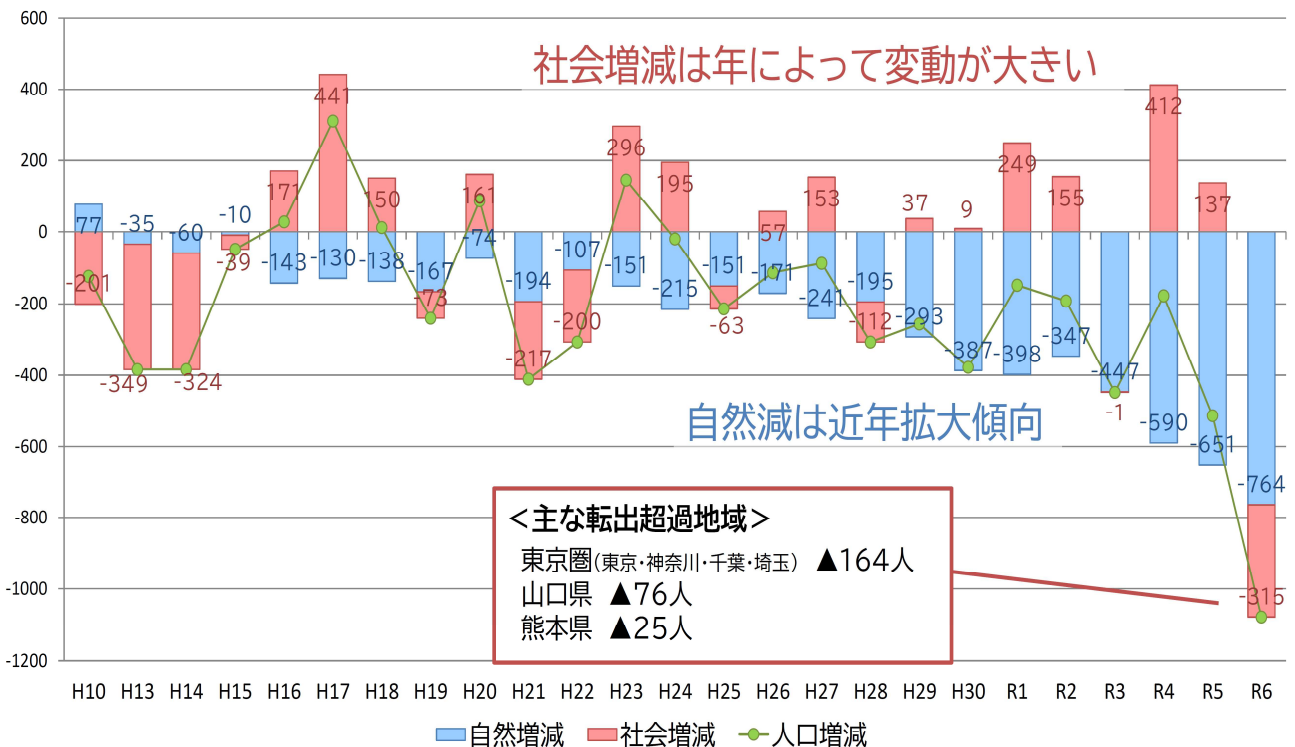
中津市の推計人口 (R5社人研推計・人口ビジョン)

出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所(日本の地域別将来推計人口)



中津市の人口動態

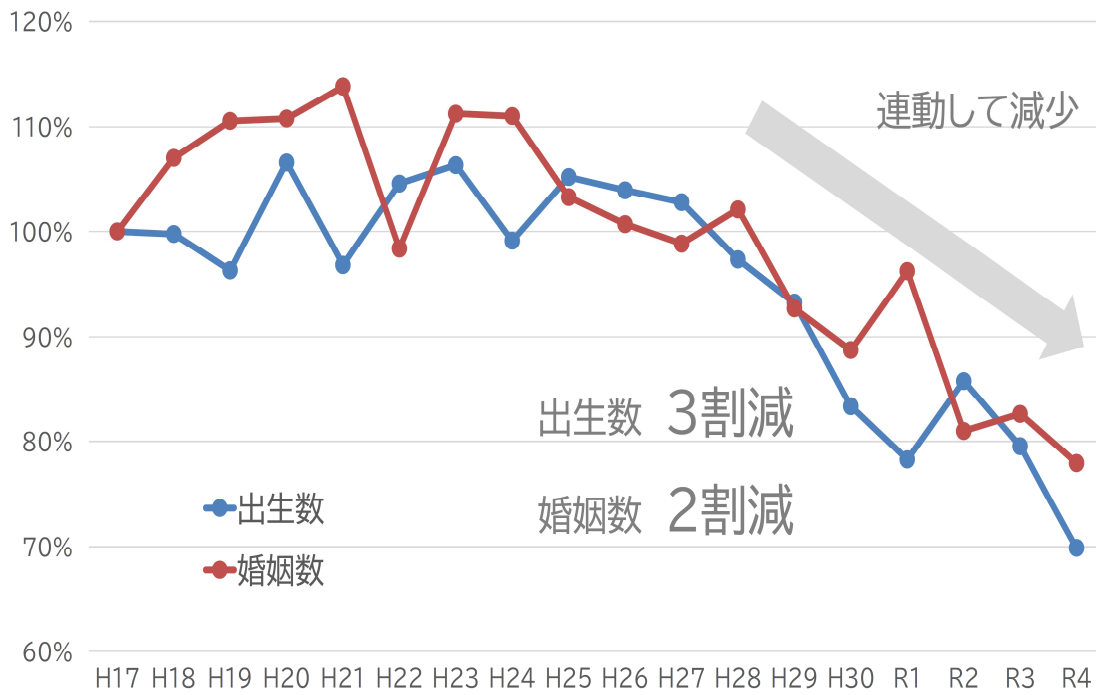
出典: 大分県人口推計



婚姻数と出生数の推移

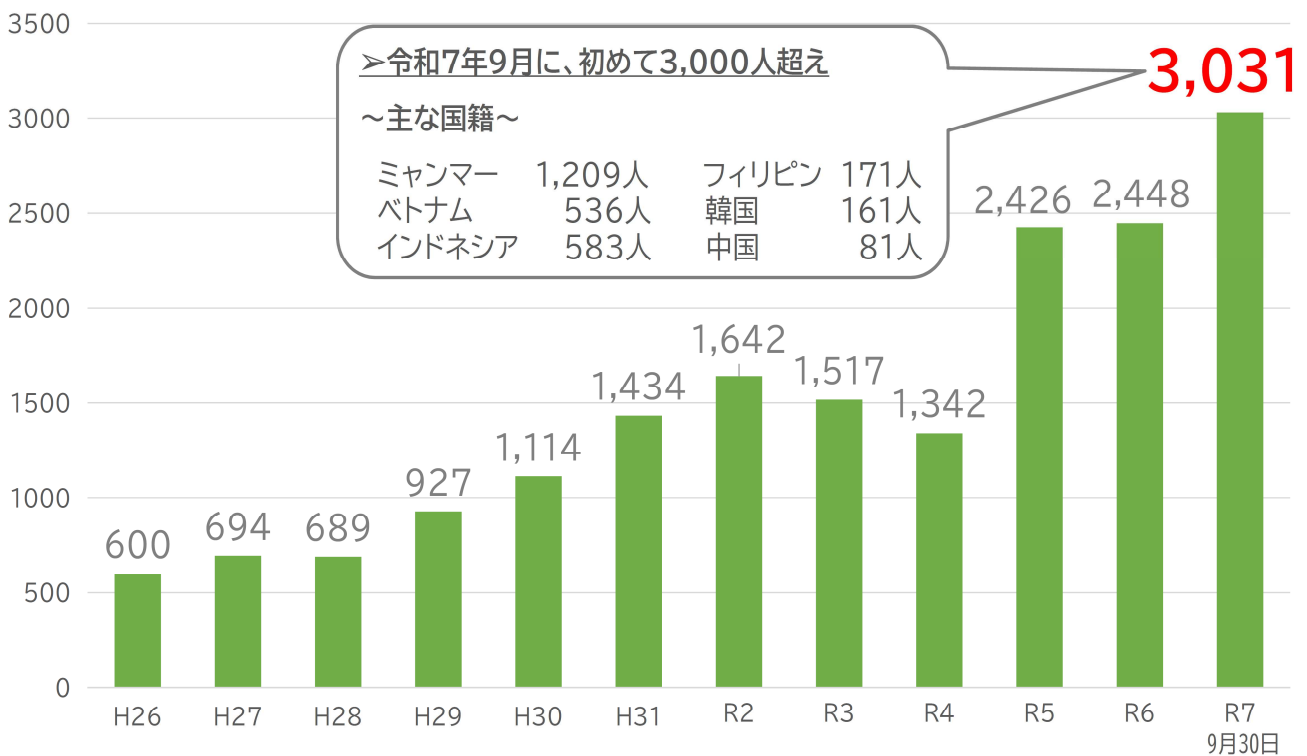
※H17年を100とした場合

データ出典:大分県人口推計



外国人人口の推移

データ出典:住民基本台帳データ(各年3月31日)
※令和7年のみ、9月30日時点



**第3期 中津市版
まち・ひと・しごと創生総合戦略**
【計画期間：R7（2025）年度～R11（2029）年度】

の策定について

第3期 中津市版 まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要

※第2期総合戦略からの主な変更箇所については、赤字で示しています。

～住みたい、帰りたい、行ってみたい～

「暮らし満足No.1のまち」中津

- ◆あらゆる主体との連携 ◆市民や団体等との対話・協働
- ◆定住自立圏など広域的な自治体間連携 ◆SDGsの視点

【計画期間】2025(令和7)年度～2029(令和11)年度(5年間)

【ポイント】「なかつ安心・元気・未来プラン」の中期的なアクションプランとして、人口減少の抑制、雇用の確保、交流(関係)人口の拡大など地方創生に關係する施策に重点を置いて取り組む。

安心づくり

～誰もが生き生きと安心して暮らせるまち～

①子どもを産み育てやすい環境づくり

- ・子育て世帯の経済的負担軽減などによる支援
- ・出会い・結婚の希望実現のための支援

②地域包括ケアシステムの深化と健康づくりの推進

- ・病診連携、医療介護連携の推進
- ・高齢者の孤立をなくす見守りネットワークの拡大
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の拡充
- ・予防事業・体操教室やスポーツを通じた健康づくりの推進

③地域コミュニティの維持・活性化

- ・地域の実情に応じた生活機能や拠点機能の確保
- ・地域住民が主体となった活動の支援

④災害に強いまちづくり

- ・自助・共助・公助のバランスが取れた災害に強い地域づくり
- ・情報伝達手段の充実及び情報共有の円滑化

⑤誰もが活躍できる多様性のある地域づくり

- ・誰もが活躍できる地域づくり
- ・多文化共生に向けた交流事業の推進
- ・多様な価値観を尊重する地域づくり

◆生活満足度(※1) 2029年に **7.0**

◆お達者年齢(※2) 2029年に 男性 **81.58歳**
女性 **85.39歳**

※1 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well-Being)指標」より引用
※2 介護保険の要介護2以上の認定を受けていない方を健康の状態とみなして大分県が算出している年齢。

数値目標

元気づくり

～モノや人が行き交う元気のあるまち～

①地場企業への支援及び起業・創業への支援

- ・地場企業の育成と人材確保支援
- ・ワンストップ窓口やセミナー等による起業・創業支援
- ・商店街の活性化支援と城下町周遊促進

②企業誘致の促進

- ・女性が働きやすい、若者が働きたい企業誘致の推進
- ・企業立地環境の整備・充実

③農林水産業の振興

- ・農業の担い手確保と生産性向上
- ・水産業の担い手確保と生産性向上
- ・循環型森林整備の推進及び経営放棄林の解消
- ・「九州・中津ブランド」の推進など地域産品の高付加価値化

④交流人口・関係人口の拡大

- ・観光資源の魅力向上と情報発信
- ・宿泊・体験型観光やインバウンド誘客の推進

⑤移住・定住促進

- ・移住支援体制の充実と情報発信
- ・若者のUターン・転入を促進する支援の拡充
- ・観光と移住がつながる仕組みづくり

◆人口社会動態 2029年に **社会増を維持** (直近5年間平均)

◆生産年齢人口 2029年に **約4.5万人**

◆企業誘致件数 2029年度まで 5年間累計 **30件**

◆新規雇用創出数 2029年度まで 5年間累計 **420人**

数値目標

未来づくり

～新しい時代に子どもや若者の未来を開くまち～

①「学びの里なかつ」の推進

- ・社会教育施設を中心とした幅広い「学び」の機会創出
- ・ICTやAIを活用したこどもの可能性を広げる教育
- ・郷土愛や職業観の醸成
- ・文化財等を活用した文化・芸術の拠点づくり
- ・若者の希望を応援するまちづくり

②環境共生都市なかつの実現

- ・みんなでつくる「きれいなまち中津」
- ・脱炭素社会、循環型社会の構築

③交通・物流ネットワークなどの都市基盤の整備

- ・中津を核とした交通・物流ネットワークの充実
- ・持続可能な公共交通網の構築

④デジタル技術を活用したWell-beingの向上

- ・AIなどデジタル技術を活用した住民サービスの向上
- ・デジタル端末に馴染みの薄い層に対するデジタルデバイス対策

◆若年人口回復率(※3) **100%以上維持** (2030年国勢調査)

◆幸福度(※4) 2029年に **7.0**

※3 15～24歳の人口減少幅に対する25～34歳の人口増加幅の割合。国勢調査を基に算出。
※4 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well-Being)指標」より引用

数値目標

中津市の人口ビジョン(継続)

2030年 総人口 約7.9万人
2040年 総人口 約7.6万人



2060年の総人口 **約7万人**

◎第3期総合戦略における特徴的な取組

基本目標Ⅰ

安心づくり～誰もが生き生きと安心して暮らせるまち～

➤多文化共生推進事業 【令和7年度～】

- 地域と外国人居住者とをつなぐコーディネート
- 外国人住民との共生に向けた意識啓発
- 日本語習得支援（日本語教室など）

⇒多文化共生の推進（誰もが活躍できる多様性のある地域づくり）

基本目標Ⅱ

元気づくり～モノや人が行き交う元気のあるまち～

➤おかえりなさい奨学金返還支援補助金【令和7年度～】

- 中津市の小・中・高校のいずれかを卒業した若者が、奨学金を利用して大学に進学した後、中津市に戻って就職する場合に、奨学金の返還に必要な経費を補助。

⇒若者のUターン・転入の促進（移住・定住促進）

基本目標Ⅲ

未来づくり～新しい時代にこどもや若者の未来を開くまち～

➤中津南高等学校耶馬溪校の全国募集開始に向けた取組

- 令和8年度入試から募集開始
 - ・生徒受入のため、寮を整備（既存施設の改修のほか、新設も検討）
 - ・生徒への食事の提供や、生活の見守りなどの生活支援も実施

地方創生推進交付金の 活用状況について

地方創生推進交付金活用事業の状況【令和6年度】

◎中津市単独事業

①不滅の福澤プロジェクト（事業期間：令和4年度～令和6年度）

《事業概要》

令和6年の吉萬円札の肖像交代を好機ととらえ、改めて福澤諭吉先生の偉業を顕彰し未永く後世に伝えていくとともに、福澤諭吉の故郷：中津の知名度を高めていく。

《主な事業》

○情報発信・誘客事業 ○受入体制整備・イベント実施・誘客事業 ○企画展、講座等の開催

KPI	3年度目 目標値	実績 (R6)
城下町エリアの観光入込客数	137,299人	152,901人
福澤諭吉旧居・記念館の入館者数	35,134人	28,417人

令和6年度交付金額：16,788,596円（総事業費：33,577,197円） 3年度目/3年度

②中津市人材リテンションプログラム（事業期間：令和5年度～令和7年度）

《事業概要》

低年齢層の頃から小・中・高校とそれぞれのライフステージに応じて市内産業・企業の魅力を発信すること等により市内事業の人材の安定確保、生産性の維持・向上を図るとともに、進学を機に市外に流出した若者のUターンを促進する。

《主な事業》

○低年齢層（及び保護者）に向けた市内企業の魅力発信事業 ○企業合同就職面接会
○人材マッチング事業

KPI	2年度目 目標値	実績 (R6)
市の取組みによる市内企業への新規就職者数	18人	18人
企業PR動画再生数（動画投稿サイト等累計） 及び企業情報提供サイト閲覧件数	110,000回	140,578回

令和6年度交付金額：3,500,990円（総事業費：7,001,981円） 2年度目/3年度

◎広域連携事業

③農林水産業サプライチェーン最適化推進事業(県連携)

《中津市事業概要》

○マーケットインの商品づくり支援

・構築したネットワークを活用し、なかつ6次産業創生推進協議会が実施する新商品開発、高付加価値化の支援。

・中津市水産物のブランド品である『干潟美人』を核とした販路開拓支援。

《主な事業》

・地域産品高付加価値化事業 … なかつ6次産業推奨品37品目

令和6年度交付金額：8,640,000円（総事業費：17,551,728円） 4年度目/5年度

地方創生推進交付金活用事業の状況【令和6年度】

◎広域連携事業

④若者が安心して働ける環境づくり推進事業（県連携）

≪中津市事業概要≫

県内の大学生流出対策を目的とした、大学の魅力アップを図るための課題解決支援。

≪主な事業≫

・大学連携事業 … 3大学 4プロジェクト

※連携先：日本文理大学、別府溝部学園短期大学、大分県立芸術文化短期大学

令和6年度交付金額：186,000円（総事業費：383,414円） 3年度目/5年度

⑤おおいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業（県連携）

≪中津市事業概要≫

経営者同士のネットワーク形成による事業継続支援体制の整備。

≪主な事業≫

・創業セミナー支援 … 令和6年度実参加者数：13名

令和6年度交付金額：330,000円（総事業費：992,000円） 4年度目/5年度

⑥日本遺産「やばけい遊覧」推進事業（玖珠町連携）

≪中津市事業概要≫

日本遺産を活用した魅力ある体験型観光「やばけい博覧会」の開催。
日本遺産「やばけい遊覧」魅力発信・受入態勢整備。

≪主な事業≫

・中津玖珠日本遺産推進協議会補助金

KPI	3年度目 目標値	実績（R6）
中津市と玖珠町の観光客数	5,064,000人	3,952,980人
「やばけい博覧会」を中心とした日本遺産事業の参加者数	500人	8,049人

令和6年度交付金額：1,292,230円（総事業費：2,584,461円） 3年度目/3年度

令和6年度 地方創生推進交付金事業 事業費まとめ

事業費合計：62,090,781円 交付金額合計：30,737,816円

地方創生推進交付金活用事業の申請状況【令和7年度】

➤地方創生推進交付金については、令和7年度から「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」に名称変更され、下記のとおり変更がなされた。

○自治体あたりの申請上限件数・交付上限額の引き上げ

・申請上限件数 … 自治体の規模を問わず、最大10件。

・交付上限額 … 市区町村については、1自治体あたり国費10億円/年度。

○ソフト事業+拠点整備（ハード）事業を、一体的に一つの交付金事業として申請可能

新しい地方経済・生活環境創生交付金

第2世代
交付金

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押し。

最先端技術教育の拠点整備・実施
(ソフト・ハードの一体的支援)



農産物直売所・多世代
交流施設の一体的な整備
(分野横断的な支援)



地域の多様な主体が参画する
仕組みの構築



国の伴走支援の強化



デジタル実装型

デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取組を支援

書かない窓口



地域アプリ



オンライン診療



地域防災
緊急整備型

避難所の生活環境を本格的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災の取組を支援

地域産業構造転換
インフラ整備推進型

半導体等の戦略分野における国家プロジェクトの産業拠点整備等に必要となる関連インフラの整備を機動的かつ追加的に支援

➤中津市の令和7年度申請事業一覧 … 新規・5件、継続・1件が採択。

	事業名	計画期間	R7事業費
新規	将来に希望が持てる持続可能な一次産業づくり事業	R7～R9	39,883千円
新規	学びの里なかつ推進（学びによるWell-Being向上）事業	R7～R9	30,365千円
新規	多様な人材が活躍できるまちづくり事業	R7～R9	4,049千円
新規	「中津に泊まって丸ごと観光」推進事業	R7～R9	115,400千円
新規	「しもげワーク&ライフ」快適化推進事業	R7～R9	11,029千円
継続	中津市人材リテンションプログラム	R5～R7	9,204千円

R7事業費合計：209,930千円 交付金額合計：104,963千円